

健康づくり・スポーツ推進特別委員会行政視察概要

1 視察月日 令和元年11月26日（火）～11月27日（水）

2 視察先及び視察事項

（1）東大阪市花園ラグビー場（大阪府東大阪市）

スポーツを通じた健康づくりについて

（2）ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会（大阪府大阪市）

ワールドマスターズゲームズ2021関西について

3 視察委員

副委員長	川	口	広
同	清	水	富雄
委員	黒	川	勝
同	佐	藤	祐文
同	山	田	一誠

視察概要

1 視察先

東大阪市花園ラグビー場（大阪府東大阪市）

2 視察月日

11月26日（火）

3 対応者

花園ラグビーワールドカップ2019推進室次長（受け入れ挨拶・説明）

花園ラグビーワールドカップ2019推進室主幹（説明）

4 視察内容

（1）スポーツを通じた健康づくりについて

ア 花園ラグビー場の概要

（ア）歴史

1929年 開場

1963年 全国高等学校ラグビーフットボール大会開催

1992年 改修

2015年 東大阪市花園ラグビー場に改称

2017年 ラグビーワールドカップにあわせた改修

（2018年9月完了）

2019年 ラグビーワールドカップ開催

2020年 第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会

2021年 ワールドマスターズゲームズ2021関西

（イ）施設

第1グラウンド（収容人数：2万7400人）

第2グラウンド（収容人数：1300人）

練習グラウンド

イ ラグビーワールドカップ2019開催に向けた取り組み

（ア）大会開催準備

a 花園ラグビー場の改修

VIPルーム・ラウンジ

スタンド・大型ビジョン

ラグビーワールドカップ2019ルーム

トイレ（全改修・スムーズな動線）

ナイター照明の新設
全座席のセパレート化

b 大会機運の醸成

ラグビーワールドカップ開催誘致署名 7万4532筆
開催カウントダウン 1000日間
ラグビーのまち東大阪の夕べ 9万4500人参加
ラグビーのまち東大阪基金 2570件 約3億1000万円
ラグビー事業 延べ約4000時間実施（51校中49校）
ラグーシャツ着用 平成22年～10年目

(イ) 花園ラグビー場みらい魅力活性化委員会

(ウ) 花園開催国との交流地盤の構築

(エ) 市内誘客施策・DMOの連携

ウ ラグビーワールドカップ2019の開催実績と効果

(ア) ラグビーワールドカップ花園開催試合の観客動員
4試合計8万5352人（平均2万1338人）

(イ) ラグビーワールドカップ大阪・花園関連のボランティア動員
1317人（9月20～22日、28日、10月3日、5日、13日、20日）

(ウ) 公式ファンゾーンへの入場者数（花園中央公園内特設会場）
9818人（9月20～22日）

(エ) パブリックビューイング（準々決勝 花園ラグビー場）
1万2787人（10月19日、20日）

エ ラグビーワールドカップ2019以降の展開

(ア) ワールドマスターズゲームズ2021関西とマスターズ花園

(イ) スポーツツーリズムを軸としたスポーツ産業の展開

(ウ) 多様なスポーツによるにぎわい創出

(エ) 花園中央公園の一体管理推進

(オ) 学術機関との協働による新たなアプローチ

(カ) 事業者・スポーツチーム、他市等との連携

オ 質疑概要

Q スポーツを通じた健康づくりの観点で、どのような取り組みを行っているか。

A 平成30年2月、大塚製薬株式会社とスポーツを通じた健康づくりに関する連携協定を締結した。スポーツを通じた健康づくりに関する取り組みを実施することで、市民の健康的な生活の実現を図ることを目的としている。スポーツイベントでブースを出展し

ていただき、飲料等を提供していただいた。

また、大阪大学と協働し、ラグビーをモデルにサイバーフィジカルシステムを用いたスポーツ重症外傷・疾病の発生リスクの予測・重症度推定・早期発見に取り組んでいる。令和元年10月にはワールドマスターズゲームズプレマッチの参加者を対象に計測会を実施した。このような取り組みによって、安心・安全なプレーにつながる情報提供を目指している。

Q 施設の有効活用の観点で、地元のサッカークラブであるFC大阪と連携しているか。

A サッカーとラグビーでは芝の長さが異なり、容易に共有できないこと、スタジアムにはラグビーの聖地としてのブランドがあり、ラグビー専用とすることに意義があるため、FC大阪がスタジアムを使用することは現状考えていない。

Q ラグビーワールドカップのレガシーとして、市民が参加できるイベントを開催する予定はあるか。

A 来年度以降、シニアラグビーの全国大会を開催する。チームでなくても個人で参加できる仕組みをつくる形で、ラグビーワールドカップのレガシーを残している。

Q 花園中央公園の一体管理をすることの狙いは何か。

A 公園内には多様なスポーツ施設、文化施設等があり、現在個別に管理運営されている。これらを一体的に管理することで、より効果的に集客し、にぎわい創出の拠点として活用することが狙いである。

(2) 委員所見

ラグビーワールドカップの後、間をあげずにワールドマスターズゲームズ2021関西を招致し、その後もマスターズ花園大会等を予定しており、レガシーの継続を、切れ目なく行っていた。そして、マスターズ世代のラグビー大会を企画する等、ラグビーというシンボルを前面に押し出しつつ、市民のスポーツ参加へとつなげていた。

健康づくりという観点では、大阪大学等の学術機関との協働、事業者、スポーツチーム等と連携をしながら、スポーツを通じた健康づくりについての取り組みを行っていた。

これらの点は、本市においても、非常に参考になるものと思料する。



(会議室での説明聴取及び質疑)



(花園ラグビー場グラウンドにて)

視察概要

1 視察先

ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会（大阪府大阪市）

2 視察月日

11月27日（水）

3 対応者

副事務局長（受け入れ挨拶・説明）

総務部部長（説明）

4 視察内容

（1）ワールドマスターズゲームズ2021関西について

ア ワールドマスターズゲームズとは

国際マスターズゲームズ協会（IMGA）が主宰する世界最大級の生涯スポーツの国際総合競技大会であり、おおむね30歳以上であれば誰でも参加でき、4年ごとに開催される。特徴としては、参加基準は年齢のみとなっていること、予選がなく複数種目に登録が可能であること、元プロ・アマ選手問わず出場可能となっていることである。

イ 国際的な位置づけ

IMGAとIOCが、万人のためのスポーツ及び活力にあふれた社会を促進させる精神のもとで結束し、オリンピックアジェンダ2020の提言にある他スポーツイベントの主催者と緊密に協力することについて以下2点を覚書に調印した。

- ・夏季オリンピックの翌年に同一開催国にてワールドマスターズゲームズを開催
- ・マスターズスポーツへの協力強化と、世界中の成熟した競技者への定期的なスポーツ実施を推奨

関西大会は本調印後、初めての大会となっており、夏季オリンピック後、同一国にてワールドマスターズゲームズを開催するモデルケースである。

ウ 国内的な位置づけ

（ア）文科省第2期スポーツ基本計画における位置づけ

文部科学省が平成29年3月24日に策定した、スポーツに関する

施策の総合的かつ計画的な推進を図るための重要な指針である第2期スポーツ基本計画のスポーツを通じた国際社会の調和ある発展の項目において、明確に位置づけられた。

(イ) 政府の骨太方針2019への位置づけ

政府の骨太方針2019における重要課題への取り組みにおいて、ワールドマスターズゲームズ2021関西大会は、大規模国際大会等の成功とスポーツ・文化芸術立国の実現の項目において、明確に位置づけられた。

(ウ) 一億総スポーツ社会への貢献

本大会は、生涯スポーツ社会の実現を目標に掲げており、国が進める一億総スポーツ社会の実現に向けた第2期スポーツ基本計画の各施策の推進にも大きく貢献する。

エ 大会開催による全国への波及効果

大会開催にかかわる経済波及効果は、1461億円となっており、大会レガシー効果は、1兆868億円となっている。

大会レガシー効果とは、大会後の記念大会の継続や、レガシーを見据えて実施される取り組み等がもたらす開催地等の知名度向上による、訪日観光客・観光消費拡大等の効果を推計したものを指す。

オ 質疑概要

Q マスターズ陸上やマスターズ水泳といった、純粋に記録を競う大会とワールドマスターズゲームズとの位置づけは、どのような違いがあるか。

A ワールドマスターズゲームズは「みる」とどまらず、参加することが一番のポイントである。良い記録を持っていなくても、エントリーすれば参加できる間口の広い体験型の大会であり、純粋な競技大会とは異なる特徴がある。

Q ワールドマスターズゲームズ開催のための資金確保についてはどのように考えているか。

A 経済界からのスポンサー収入を初め、宝くじの助成金等の利用により、地元自治体の負担ができるだけ軽くなるように対応していきたい。

Q ワールドマスターズゲームズ2021関西の財源内訳はどのようなになっているか。

A 財源内訳は以下の通りとなっている。

開催自治体負担金 7億2000万円、派遣職員人件費17億4000万円、

近畿宝くじ収益金 4 億 5000 万円、民間等協賛金 17 億円、参加料収入 8 億円、公的助成金 5 億 1000 万円、全国自治宝くじ収益金 20 億円。これらの総額は 79 億 2000 万円となっている。

(2) 委員所見

マスターズ世代のオリンピックともいうべき、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西を招致し、ラグビーワールドカップ後も積極的にスポーツ熱を維持するための努力を行っていることが、非常に参考になった。

その一方で、スポーツへの取り組みと健康の維持の必要性が高い、高齢者世代に対してマスターズスポーツを振興していくことで、市民の健康の増進を図ろうというコンセプトは、本市においても、非常に参考になるものと思料する。



(組織委員会入口)



(会議室での説明聴取及び質疑)